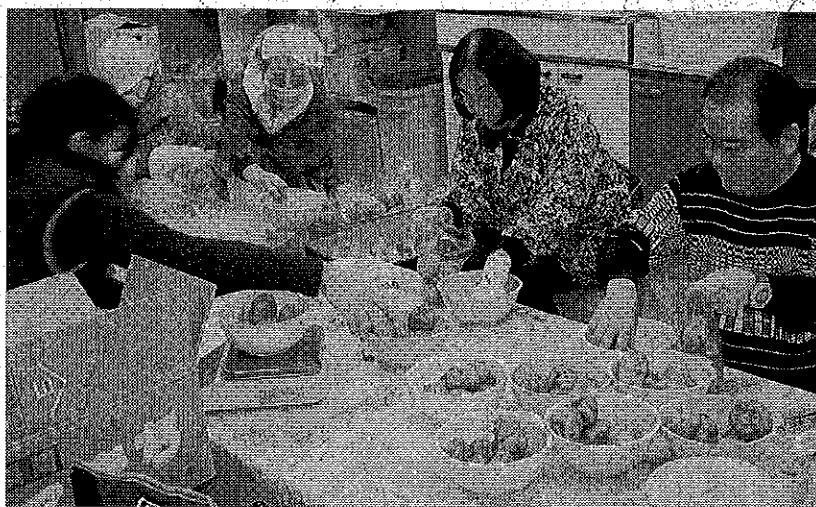


# 視覚障害者作業所再出発1ヶ月半

# 自立へ滑り出し好調



ジャガイモを袋に詰める利用者ら。明るい声に冗談も飛び交う  
—鹿児島市星ヶ峯2丁目のパーム

ハンディを抱えた仲間と外へ踏み出す一步に」。鹿児島市紫原にあつた視覚障害者の小規模作業所「パーム」が、星ヶ峯2丁目で就労継続支援事業所として再出発し1カ月半がたつた。利用者からは「作業場も広く、仕事しやすくなつた」と好評だ。だが、利用はまだ多いとはいす、関係者は「家でこもりがちな人に、ぜひ知つてほしい」と来所を呼びかけている。

## 星ヶ峯「パーム」

事業所は11月、障害者自立支援法に基づく施設として、社会福祉法人たんぽぽ会（藤田泰洋理事長）が開設した。市などによると、視覚障害者を中心とした同種の施設は、市内初めてという。

法人たんぽぽ会（藤田泰洋理事長）が開設した。市などによると、視覚障害者を中心とした同種の施設は、市内初めてという。

職員の小山昭一郎さんは、「家でもんもんとしているより、樂

## 就労支援所になり活気 「ぜひ来所して」

登録するが、活動は1日平均5人などまる。  
工賃の初支給日となつた10日は、4人が  
菓子箱折りや野菜の袋詰めに励んだ。作業中  
も笑い声が響く。

同市宇宿3丁目から通う山下純孝さん（55）

は「環境がよくなつて、作業効率も上がつた。  
目にかかる医療情報を交換したり、音声の出る携帯メールの打ち方など学習したりする場にもなつていて」と話す。

1月1日～11月30日までの登録者数は18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

しい雰囲気で語らいな

がら、生産・機能訓練

的活動ができるればと

始めた。将来就職して

いく自立への足がかりにしてほしい」と期待

を込めた。

1月1日～11月30日までの登録者数は18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。

1月1日～11月30日までの登録者数は18歳以上で、学校卒業後他の施設を利用したことのある障害者。